

みどり法に基づく認定農業者の事例

(株)マルサンファーム
(青森県
平内町)

- 経営の概況（品目、経営規模等）
 - ・ 水稻 13.93ha
 - ・ 野菜 0.30ha
- 環境負荷低減事業活動の取組内容
 - ・ 稲わらを秋起こしですき込む
(慣行 3ha→13.93ha)
 - ・ 有機質肥料の施用により化学肥料を削減
(慣行 窒素10.0kg/10a→7.0kg/10a)
 - ・ 抵抗性品種を利用して化学合成農薬の削減
- 認定を受けたきっかけ、良かったこと等
 - ・ 弊社の取組を社会へアピールしたかったため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

青森農業協
同組合
バサラコー
ン部会
(グループ
認定・青森
県青森市)

- 経営の概況（品目、経営規模等）
 - ・ スイートコーン 449a
 - ・ 構成員数 13経営体
- 環境負荷低減事業活動の取組内容
 - ・ 緑肥作物を導入した合理的な輪作
体系 (慣行 40a → 470a)
 - ・ 緑肥の導入による化学肥料低減と肥効調節型肥料
(バサラコーン専用442) の施用
(慣行 窒素32kg/10a → 30kg/10a)
 - ・ 機械除草により化学合成農薬を減らす
(慣行 10回 → 9回以下)



- 認定を受けたきっかけ、良かったこと等
 - ・ エコファーマーの認定期間終了に伴い、エコファーマーに代わるものとして引き続き環境負荷低減に取り組んでいくため。
 - ・ グループ申請を行うことにより、個々の書類作成など事務手続きの軽減につながった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

(株) アグ リーンハー ト (黒石市)	○経営の概況（品目、経営規模等） 有機栽培：水稲9ha、大豆33ha、アスパラ0.3ha 特別栽培：水稲30ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・ 秋期の稲わらすき込みや未利用資源堆肥による土づくり ・ 有機質肥料主体の施肥による化学肥料無施用～5割以上削減 ・ 化学合成農薬の不使用～5割以上削減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・ みどり法の認定により補助事業のポイント加算があることを知り、認定を受けた。
---	--

みどり法に基づく認定農業者の事例

山ロー茂 (青森県 黒石市)	○経営の概況（品目、経営規模等） ・ 水稲 3.2ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・ プラスチックを使用しない緩効性肥料を施用し、環境負荷低減を図る。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・ 環境負荷低減技術を取り入れた水稲栽培の確立を目指したいと考えたため認定を受けた。
-------------------------------	---

みどり法に基づく認定農業者の事例

津軽みらい
農協フード
プラン
(グループ
認定・青森
県平川市)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ りんご 14.19ha
- ・ 構成員数 16経営体



○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 牧草草生栽培を実践し、刈り取った草は樹冠下へ敷草する。
- ・ 施肥の窒素成分を青森県基準15kg/10a のうち、1/2の7.5kgを有機質由来の成分としている。
- ・ 化学農薬の年間使用成分数を青森県基準36成分の1/2の18成分以内としている（農薬カウントの無い天然由来の農薬や交信攪乱剤を使用）。

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ 平成5年から近畿圏の生協と減農薬・減化学肥料での契約栽培を実施しており、令和5年からは生協版GAPも実践し認定の条件を満たしていると思った。
- ・ みどり認定のメリットを活用し、今後の農業経営に活かせると思った。

みどり法に基づく認定農業者の事例

春 義彦
(青森県
五戸町)

- 経営の概況（品目、経営規模等）
 - ・だいこん、はくさい、たまねぎ等
露地野菜 3.15ha

- 環境負荷低減事業活動の取組内容
 - ・緑肥の施用
 - ・化学肥料、化学農薬の不使用



- 認定を受けたきっかけ、良かったこと等
 - ・東北農政局県拠点からすすめられた。
 - ・現時点では特になし
(機械取得に対する税の優遇は良いと感じるので、今後活用したい。)

みどり法に基づく認定農業者の事例

南風農園
(青森県
八戸市)

- 経営の概況（品目、経営規模等）
 - ・にんじん、ばれいしょ、大豆等
露地野菜 5.3ha

- 環境負荷低減事業活動の取組内容
 - ・緑肥の施用
 - ・有機質由来の肥料を施用
 - ・防虫ネット、防草シート、除草機械等の使用により、
化学農薬を使用しない



- 認定を受けたきっかけ、良かったこと等
 - ・八戸市農業経営振興センターからすすめられた
 - ・『いわてグリーン農業アカデミー』の現地研修に選ばれ、有機農業のノウハウを多くの方に体験してもらい、交流も出来たこと。

みどり法に基づく認定農業者の事例

吉田宗司
(青森県
八戸市)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ 露地ピーマン 0.5ha
- ・ ワイン用ぶどう 0.3ha
- ・ 緑肥 0.5ha



○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 有機質由来の窒素分量を増やす
- ・ 化学肥料の使用量を減らす
- ・ 通路に緑肥リビングマルチや防草シートを使用し、除草剤を使用しない

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

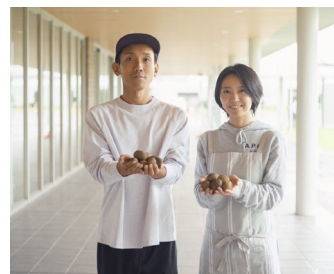
- ・ 補助事業の採択でポイントが加算される。

みどり法に基づく認定農業者の事例

加納良介
(青森県
南部町)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ さつまいも 45a
- ・ スイートコーン 10a
- ・ ばれいしょ 15a
- ・ にんにく 5a



○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 有機JAS対応の有機質資材を施用
- ・ 化学肥料、化学農薬の不使用

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ 環境保護や持続可能な農業に積極的に取り組んでいることが証明されることで、社会的評価が高まるため
- ・ 国庫補助金の採択で優遇や設備投資の際の所得税・法人税が優遇されること

みどり法に基づく認定農業者の事例

(有) 瑞宝
(青森県
中泊町)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ 水 稲 4 2 ha
- ・ 大 豆 7 1 ha
- ・ 小麦ほか 1 1 ha
- ・ にんにくほか 3 ha



大型トラクターでの
大豆播種作業

○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 全ての経営ほ場で農薬・化学肥料・除草剤の使用なし（有機栽培）
- ・ 大豆、水稲、小麦の輪作による安定生産
- ・ 自家製もみ殻堆肥の施用
- ・ 稲わらを秋起こしですき込み

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ 消費者に興味を持ってもらい、手に取ってもらうきっかけとなればとの思いから。
- ・ 設備投資の際の所得税・法人税の優遇措置を受けられるため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

小笠原俊也
(青森県
つがる市)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ 水 稲 1 7. 0 ha
- ・ 大 豆 1 5. 0 ha
- ・ ね ぎ 0. 6 ha
- ・ 加工トマトほか 1. 4 ha



特別栽培米のほ場

○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 稲わらを秋起こしですき込む
- ・ 被覆肥料等肥効調節型肥料を施用
- ・ 温湯種子消毒により化学合成農薬を減らす

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ Jクレジットへ試験的に取り組む中で、みどり認定へも興味を持った
- ・ Jクレジットとみどり認定のセットで、環境への負荷が少ない農業生産を進めていきたい

みどり法に基づく認定農業者の事例

野呂修聖
(青森県
つがる市)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ 水 稲 1 1 ha
- ・ 大豆ほか 1 5 ha

○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 大豆と水稻の輪作
- ・ 稲わらのすき込み
- ・ 基肥へ肥効調節型肥料等を施用
- ・ 機械除草による化学合成農薬の削減



大豆の中耕培土作業

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ 令和3年度に全国豆類経営改善共励会で農林水産大臣を受賞し、大豆講習会等で講師を務めるなど人前に出る機会が多くなっていることが、みどり認定者をPRする良い機会になると考えたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

福士忍顕
(青森県
板柳町)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ りんご 3. 2 ha
- ・ 水 稲 1. 2 ha
- ・ 野 菜 0. 7 ha



○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ EMボカシ完熟堆肥及び稲わら堆肥の施用
- ・ フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。
- ・ 長年取り組んでいる環境にやさしい農業への取組を公的機関に認定してもらえて良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

佐藤 勉
(青森県
板柳町)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・りんご 2. 0ha
- ・水 稲 0. 5ha
- ・大 豆 2. 4ha



○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・EMボカシ堆肥の施用
- ・フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。
- ・長年取り組んでいる環境にやさしい農業への取組を公的機関に認定してもらえて良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

(株)佐藤有
機農園
(青森県
板柳町)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・りんご 4. 0ha
- ・水 稲 3. 5ha
- ・大 豆 6. 5ha



○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・EMボカシ堆肥の施用
- ・フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。
- ・長年取り組んでいる環境にやさしい農業への取組を公的機関に認定してもらえて良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ トマト・ミニトマト 33a

○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 完熟堆肥の施用による土づくり
- ・ 有機質由来の肥料の施用による化学肥料の減少
- ・ 抵抗性品種と台木の利用及び機械除草による化学合成農薬の減少

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ 自動車部品を製造している奥越部品（株）は、経営の多角化のため、農業へ参入し、トマトとミニトマトを生産・販売している。
- ・ トマトとミニトマトの販売を有利にするため、これまでもエコファーマーの認定を受けており、今回、みどり認定も受けることとした。
- ・ みどり認定を広くPRするため、独自の認定シールを作成し、農産物に貼付・販売している。



みどり認定シール

おくえつ
奥越部品
(株)
(青森県
板柳町)

みどり法に基づく認定農業者の事例

山口貴弘
(青森県
板柳町)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・りんご 0.8 ha
- ・水稲 1.1 ha
- ・大豆 2.7 ha



○環境負荷低減事業活動の 取組内容

- ・稲わら堆肥と豚ふん堆肥の施用
- ・フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。
- ・長年取り組んでいる環境にやさしい農業への取組を公的機関に認定してもらえて良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

戸館里美
(青森県
十和田市)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ にんにく 4a

○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 有機質由来の成分を含む肥料を使用した土作り及び化学肥料の使用低減
- ・ 化学農薬の不使用

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ みどり認定の内容と環境や人に優しい農業をしたいという経営方針が合致したため、認定を受けた。



みどり法に基づく認定農業者の事例

苫米地義勝
(青森県
十和田市)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ 水稻 275a
- ・ 大豆 30a
- ・ 麦 20a
- ・ その他 12a

○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 稲わらすき込みによる地力向上
- ・ 温湯消毒や米ヌカ・もみ殻使用による化学農薬及び化学肥料の不使用

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ 環境に優しい農業に元々興味があり、健康に良い食品作りを実施していた。そんな中、県民局からみどり認定の存在を教えてもらい、認定を受けた。



みどり法に基づく認定農業者の事例

佐々木正徳
(青森県
十和田市)

○経営の概況（品目、経営規模等）

- ・ にんにく 30a
- ・ ながいも 100a
- ・ ごぼう 100a
- ・ 大豆 210a



○環境負荷低減事業活動の取組内容

- ・ 有機質肥料（堆肥）の施用
- ・ 化学農薬の不使用（黒マルチ）

○認定を受けたきっかけ、良かったこと等

- ・ 環境保全型農業直接支払交付金で必要だったため申請した。
- ・ 環境負荷低減農作物は企業に買い取ってもらっており、自分で価格を申請できる点が良い。営農計画も立てやすい。
- ・ 農薬や肥料代が減ったのも良かったことである。